

受験生特集 4〜8面

国際交流

キャンパスでも活発



▲ キャンパスの国際交流は活発=12年6月のボウリング大会

専修大学は、世界16カ国・地域20大学と国際交流協定を結び、活発な教育・研究交流を行っている。

国際交流協定校 (16カ国・地域20大学)	
韓国	檀国大学
中国	上海大学
	西北大学
	北京大学国際関係学院
台湾	中山大学
モンゴル	モンゴル国立大学
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ 人文社会科学大学
ラオス	ラオス国立大学
アメリカ	ネブラスカ大学 リンカーン校
	サスケハナ大学 オレゴン大学
カナダ	マウントアリソン大学
メキシコ	イペロアメリカーナ大学
イギリス	ブリストル大学
アイルランド	ダブリン大学 トリニティカレッジ
ドイツ	マルティン・ルター大学 ハレ・ヴィッテンベルク
スペイン	バルセロナ大学
フランス	リヨン政治学院
オーストラリア	ウーロンゴン大学
ニュージーランド	ワイカト大学

夏と春の短期留学プログラム、中期・長期交換・セメスター交換留学制度

により、期間、留学先、プログラム内容がさまざまな海外留学が可能だ。そのための留学支援講座もきめ細かく展開している。

仏リヨン政治学院と新たに国際交流協定

既協定校の組織改編で



▲ リヨン政治学院

専修大学はリヨン政治学院(Sciences Po Lyon)と昨年12月、国際交流協定を締結した。本学は1997年以来、リユニオン・リヨン第2大学と協定を結んでいたが、同大学の組織、改編で、リヨン政治学院と協定することになった。交流内容は以下の通り。

- ▽教職員・研究員の交流の促進
- ▽学生交流の促進
- ▽学術文献及び学術情報交換の促進
- ▽右記協定内容を発展させるためのその他学術活動の促進

多様な留学制度

専大校友を訪ねて



「自分の能力がためされた2年間でした。この体験を糧にステップアップしたい」

小河 智子さん

(平18経済)

「草の根」の視点を忘れずに

糧に恵まれているが、コメの消費量も年々増加している。人々は優しく、もてなし上手。街を歩けば知らない子どもも大人も声をかけてくれる。家族を大切に

に足る運ぶ」対面重視の精神は、大学時代に身につけた。在学中の2年間は、新聞奨学生として新聞配達をしながら学んだ。家庭の事情で一時的に休学したものの5年間で卒業。卒業後は市場調査会社に4年間勤務後、念願の青年海外協定員に就任した。

「発展途上国の現状を『草の根』からみつめる人間であり続けたい」



左から青島さん、犬童さん、塩野さん、大林守さん、山澤啓司(二部法国際交流センター長、志村さん、山澤さん)

長期交換留学生(第1期)に5人

2013年度長期交換留学プログラム(第1期)の派遣留学生に次の5人が決まった。氏名と留学先は次の通り(敬称略)。

- マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク(ドイツ)▽塩野優(経済3)▽青島幸輝(法2)
- リヨン政治学院(フランス)▽志村重理沙(法6)大学から19人が参加。
- 3)▽山澤啓司(二部法市内の小学校の訪問、三鷹の森シブリア美術館見



▲ 歓迎会で

外国語のススメ LL研究室

ドイツ語

寺尾格 LL研究室長・経済学部教授

外国語のススメも35回目(HP掲載)を数えます。これまでにご執筆いただいた諸先生方の記事を拝見すると、その多彩な内容に、あらためて外国語を学ぶ奥深さに思い切った次第です。学習のためのさまざまなヒントも数多いようですので、ぜひLL研究室のHPから、過去の記事をのぞいてみてください。絶対に損はないでしょう!

さて、今回は「外国語教育研究会」のオスメです。外国語教員のみを対象とするのではなく、より広く学生の皆さんや、あるいは一般の方々をも対象として、外国語の背景となる文化・社会・歴史等々への関心と呼び起こすような内容の講演、シンポジウムや映画上映などを開催してい

世界は広いぞ!

「英語は声から」という講演とワークショップ。同じくイギリスの作家デイヴィッド・ピース氏の小説『東京三部作』をめぐる「越境する言葉、幻の東京」は、作家本人による英語の朗読と、執筆や翻訳をめぐる質疑応答。上映会ではスペイン語と中南米の社会を扱った『忘却Oblivion』と、フランス語と植民地支配を扱った『アフリカ、お前をむしりとる』は、どちらも上映後の意見交換が盛り上がりました。問題意識の高いドキュメント映像は、娯楽中心の一般上映では見る機会が限られています。今年もさまざまな興味深い企画が無料で(!)行われます。チャレンジ精神の旺盛な学生の皆さんも、どうかお出かけ下さい。世界は広いぞ!

※全文はLL研究室ホームページで。

本学はIT時代にふさわしい デオ、コンピュータなどの機器を講演などを展開している。インターネットやマルチメディアを使った、実践的な外国語教育 「ニュース専修」では毎号、対話型デジタル方式の科目が開講されている。また、語学担当教員のコラムを紹介。システムを採用し、「21世紀の新しい外国語学習環境」を提供している。

充実した外国語学習環境を提供

LL教室・映画上映・講演会など多彩に 談や外国語学習のヒントを、肩の凝らな「LL」は、Language Laboratoryの略語で、本学 催、コマシャルベースに乗ら (コラム全文は、LL研究室のLL教室では、オーディオ、ビデオ映画の上映や言語にまつわ ホームページ)。